

平成 31 年度 適性検査 II 正答・正答例及び評価基準

※解答欄に印刷されている単位が重複して書かれていても正答とする。

※漢字の誤字は減点の対象としない。

※句読点等の有無は問わない。

問題番号		正答または正答例					配点			評価上の留意事項		
問	小問						小問	小計	計			
1	(1)	①	ア,ウ					3	8	26	(1)①完答。順序は問わない。	
		②	記号	a							5	(1)②完答。 ・正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。 ・よく日があたる地面を「日なた」、一日中、日かげの地面を「日かげ」と置き換えてもよい。
	②	理由	(例 1) よく日があると、土の中の水があたためられてこおりにくく、水が地表に出やすくなるので、しも柱が高くなるから。 (例 2) 一日中、日かげだと、土の中の水が冷えてすぐにこおって、水が地表に出にくくなるので、しも柱が高くなるから。					18	(2)②完答。 (2)④「炭」、「空気」、「酸素」を使用し、正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。			
	(2)	①	空気の出る穴	い							3	
		①	空気の入る穴	え							3	
②	ア	うのふた	イ	部屋 c	ウ	いのふた	4					
③	80000 (cm ³)					4						
④	(例) ふいごを使い、空気を送ると、炭に酸素が多くとどくので、炭がよく燃えて温度が上がる。					4						
2	(1)	①	4 (年)					3	9	25	(1)③ 7 - ㊦の順位 = ㊦の得点 7 - ㊦の得点 = ㊦の順位 ㊦の得点 + ㊦の順位 = 7 等も正答とする。 囲み枠や括弧の有無は問わない。	
		②	ア					3				
		③	㊦の順位 + ㊦の得点 = 7					3				
	(2)	①	あ	6					2			
			い	24					2			
			う	6.9					2			
		①	え	4					2			
②	記号	ア					4					
	数	30										
③	ウ					4						
3	(1)	(例 1) 月の形がふくらむにつれて、太陽と月の間かくは、はなれていくように見える。 (例 2) 三日月のときは太陽と月の間かくがせまくて、半月のときは、三日月のときよりも広い。半月よりもふくらんだ月のときは、さらに太陽との間かくが広い。					4	4	24	(1)表 1 をもとにして書かれているものを評価の対象とし、月の形の変化と、月と太陽の間隔について正しく関連付けて書かれているものを正答とする。		
	(2)	①	(例) 山の高さの分だけ、日の入りの時こくよりも早く太陽が見えなくなる					4				
		②	(ア)	(午後) 5 (時) 12 (分)						4		
			(イ)	(午後) 5 (時) 15 (分)						4		
			(ウ)	3 (分間)						4		
③	(例) 東と西に山などがなく、見通しの良い場所。					4						
4	(1)	①	式	(例) (145.9 - 134.7) ÷ 78 × 60					5	12	(1)①式 11.2 ÷ 78 × 60 等も正答とする。 (2)② ii) ・次の①～⑤が書かれているものを正答とする。 ・次の①～④が書かれているものには、5 点を与える。 ・次の①, ③, ⑤が書かれているものには、4 点を与える。 ・次の①, ③が書かれているものには、2 点を与える。 ①360 倍すること、またはそのことを表す演算 (×360, ×6×60 等) ②①の根拠 (10 秒は 1 時間の 1/360 であること等) ③25 倍すること、またはそのことを表す演算 (×25) ④③の根拠 (レールの長さは 25m であること) ⑤9000m が 9 km であること、または計算で求めた数値は m であるため km に変換すること	
			答え	8.6 (km)					3			
		②	4.6 (倍)					4				
	(2)	①	56					3				
		②	i)	ア					3			
			ii)	(例) レールの長さは 25m なので、ガタンと音がした回数を 25 倍すると、10 秒間で進んだ道のりがわかる。10 秒間は 1 時間の 360 分の 1 だから、10 秒間で進んだ道のりを 360 倍すると時速が求められる。ガタンと 1 回音がした時の時速を求めると、25 × 360 = 9000 で 9000m, 9 km なので、音がした回数に 9 をかけると時速になるから。					7			